



ベトナム コーナー 地域おこし協力隊 ファム・ティ・モさん



皆さん、こんにちは！7月29日に妹背牛町の駅の近くで町内会の焼き肉パーティーが開かれました。

コロナの影響でイベントが少なかったですが、ようやく制限がなくなりましたので、今回は初めて町内会の皆さんと交流ができて、とてもうれしかったです。

どなたも優しく、親切なので、私の日本語でも上手にコミュニケーションが取れました（笑）

午後5時に山崎会長が一言あいさつしてから、

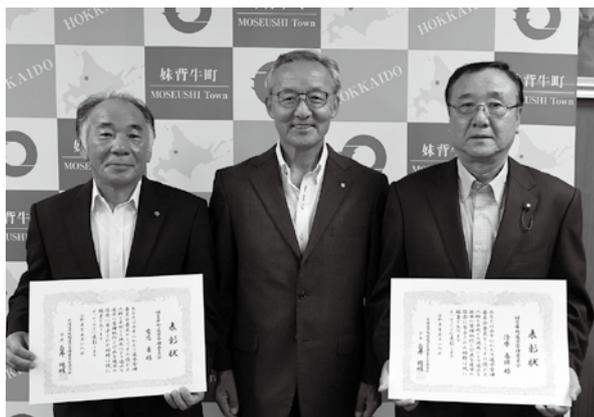
焼き肉が始まり、皆さんと一緒にお肉を焼きながら楽しく話しました。

焼き肉の後は景品が当たるビンゴゲームも。その時の雰囲気がとても盛り上がっていて、当たった人の幸せそうな顔を見ることができてうれしかったです。

私にとって、いい思い出になりました。妹背牛町に来てから、2年半が経ちましたが会ったことがない人がまだ多いと思いますので、このようなイベントに参加できることはとてもありがたいです。次回のイベントも楽しみに待っています。

もせうし Photoニュース

選挙管理委員の2人に永年勤続



田中町長（中央）から永年勤続表彰の伝達を受けた清水さん（右）と有馬さん

長年にわたり選挙管理委員会委員を務めた町民2人に対する永年勤続表彰の伝達式が7月18日、町役場で開かれました。適正な選挙の管理・執行に努めた7年以上の委員が対象で、町内からは有馬勇さんと清水泰博さんの2人が永年勤続表彰を受賞しました。伝達式が開かれた町長室で、2人に表彰状を手渡した田中一典町長は「適切で公正な選挙運営に貢献された」と、功績をたたえました。

大崎君が四種競技で全道大会へ



全道大会に向けて抱負を語る大崎君

深川陸上クラブに所属する妹背牛中1年生の大崎礼君が7月19日、町役場を訪れ、中体連陸上の全道大会出場を田中一典町長に報告しました。大崎君は、北空知地区予選の男子四種競技（110mH・砲丸投げ・走り高跳・400m）で優勝。「全道大会でも練習の成果を発揮したいです」と抱負を述べ、田中一典町長と廣澤勉教育長が「良いコンディションでベストを尽くしてください」とエールを送りました。

初めての合同企画 モコで夏祭り

シャボン玉を吹く要領でバブルアートを楽しむ子どもたち



子育て世代交流施設「from☆Moko」と青空自主保育「とちのみ」合同の夏祭りイベントが8月2日、

同施設で初めて開かれ、町内の親子7組・20人がひもくじや輪投げを楽しみました。子どもたちの人気を集めた

のが、ペットボトルの先端から、絵の具と洗剤を混ぜた液体を吹きつける「バブルアート」。シャボン玉を吹く要領で青や赤など色鮮やかな泡を重ねていき、オリジナルのうちわを作りました。

保育所で“ジャンボ”スイカ割り



目隠しをしてスイカ割りを楽しむ園児

認定こども園妹背牛保育所に今年も、富山県入善町からジャンボスイカのプレゼントが届きました。

両町は毎年、妹背牛の無形・有形文化財の獅子舞がルートにある縁で地元農産物の交流が続けています。

今年7月24日にスイカ割りを行いました。縦25センチ、幅40センチ、重さ約20キログラムのジャンボサイズに、園児たちは興奮した様子。目隠しをしてスイカ割りを楽しみ、夏の味覚を味わいました。

反核平和の火リレー 妹背牛でも



「平和の灯」を持って役場前を出発する妹背牛町役場の職員ら

平和への想いをつなぐ「反核平和の火リレー」が道内各地で行われ、妹背牛町には7月20日に「平和の灯」が到着しました。戦争や核のない世界の実現を求める同リレーは、7月18日に宗谷管内幌延町をスタートし、8月6日に札幌市へゴールする日程で開催。妹背牛町のランナーは、町役場職員の木村拓進さん、廣田絵夢さん、表陸斗さんの3人で、深川市から持ち込まれた火を北竜町へ届けました。

世代間交流で野菜の収穫体験



お年寄りと一緒に野菜の収穫を体験する小学生

町内のお年寄りが野菜を栽培する交流農園「すみっこファーム」で7月22日、世代間交流事業（町教委主催）が

行われ、地元の小学生が野菜の収穫体験を楽しみました。町社会福祉協議会が管理する農園で、世代間交流事業は

2年ぶりの開催。小学生8人に対し、お年寄り8人が野菜の取り方を丁寧に教えました。小学生は、自分で収穫した野菜を使ってパスタとスープを作り、おいしく味わいました。

短冊に願い事 園児が七夕行事



七夕のイベントで記念撮影！

認定こども園妹背牛保育所で8月7日、七夕の行事が行われました。保護者の手で園庭に設置されたヤナギの木に、園児たちが願い事を書いた短冊を飾りました。

かわいらしい浴衣に身を包んだ園児たちは、盆踊りの音楽に合わせて元気いっばいに踊りました。

的当てゲームで遊べる縁日や色鮮やかな花火も楽しみ、園庭に訪れたお父さん、お母さんと一緒に夏の楽しいひとときを過ごしました。

テレビ番組で妹背牛の魅力を紹介



ムービングハウスの前でジンギスカンを味わう、右から徳村さん、ホリさん、東田さん

HBC北海道放送の番組「ブラキタ」のロケが8月5日、妹背牛町内で行われ、ものまねタレントのホリさん、モデルの徳村里菜さん、お笑いコンビ「コロネケン」の東田孝太さんが妹背牛の魅力を紹介しました。

3人は町内の「大黒屋菓子舗」や「フレッシュマーケットしんたに」を巡った後、ムービングハウス前に移動。特産品のジンギスカンを味わったり、テントサウナを体験した収録の様子は、26日に放送されました。

DMMの東京本社で特産品 PR



DMMの東京本社に設けられた妹背牛町のPRブース

全国各地から寄せられた特産品をPRするイベントが7月28日、合同会社DMM.comの東京本社で開かれ、妹背牛町からはブランド米「北彩香」（ななつぼし）や大黒屋菓子舗の「生どら」を出品しました。

同社の地方創生事業部が企画し、地域活性化起業人制度を活用して社員を受け入れている縁で実現。北海道から沖縄県まで41の自治体に参加しました。

来場者たちは、名産品や地酒の試食・試飲、特産品にちなんだクイズを楽しみました。

小林さんに感謝状 交通安全指導員



田中町長（右）に感謝状の贈呈を報告した小林さん

通算21年間にわたり、交通安全指導員を務めた小林秀基さんに対し、深川警察署は8月10日、感謝状を贈呈しました。

会長を務めた2年間は朝の街頭啓発に欠かさず参加。自宅に交通安全旗を掲揚したほか、降雪期には安全な歩道の確保を求めするなど、交通事故の抑止に向けて積極的に取り組みました。

同日、田中一典町長に報告した小林さんは「一層、気を引き締めて交通安全活動に関わりたいです」と述べました。